



くすの木



2月の生活目標：「衛生に気をつけて 元気に過ごそう」

平成28年度No. 21（文責：徳弘）

四万十市立具同小学校（TEL：37-3249）

探究的な授業づくり研究発表会 ～第3弾 生活・総合～

今年度、本校の教育実践、特に授業が最も変わったのは、3年生以上の総合的な学習の時間とそれにつながる1・2年生の生活科です。

少し前の話になりますが、5月24日（火）の理科、6月28日（火）の国語科・算数科に続いて、11月17日（木）は、本校が中村西中学校と小中連携型指定校として取り組んでいる「探究的な授業づくりのための教育課程研究実践事業」〔高知県教育委員会〕の「第2年次研究発表会〔生活科・総合的な学習の時間〕」でした。内容としては、生活科2授業（1・2年）と総合的な学習の時間4授業（3～6年）の公開と研究協議、研究主任による研究発表と講演でした。

授業では、授業者の8人が、年度初めや夏休みから各学年部の先生方らと知恵を出し合い、講師として招いた県外の先生方、西部教育事務所の先生方らの指導助言を受けながら、研究と準備を重ねてきたプランをもとに授業に臨みました。

小学校の生活科や総合的な学習は、地域を学習の場とし、地域の人材を有効に活用しながら、「課題の設定」⇒「情報の収集」⇒「整理・分析」⇒「まとめ・表現」を繰り返しながら、よりよく問題を解決する力、よりよく思考し表現する力を育てる教育です。国際化、情報化・IT化、高齢化の時代を迎え、これまで経験したことのない社会を生き、次代の日本を創り上げる使命をもつ今の子ども達にとって、学校教育によって、人と協調・協働しながら、より賢く、より正しく、よりうまく問題を解決していく知恵や学び方・生き方を身に付けることはとても大切です。そのためにも、以前にもふれた“考え 整理し 話したり 書いたりする力”（思考力・判断力・表現力＝活用学力）や“もっと知りたい・もっと深く学びたいという意欲 よりよく問題を解決する力”（探究学力）をつける授業が、今、求められています。そして、この力をどう育てるか、本校が今、挑戦している教育です。

←1年1組「たのしい あき いっぱい」

2年2組「うごく うごく わたしのおもちゃ」→

子どもと
いっしょに
学びを楽
しんで…



↓3年「具同じまん〜トンボ王国 GoGo 大作戦〜」



4年2組「みんなの宝 四万十川」↓



授業は子どもが主人公!



六年一組「具同歴史発見!」
五年一組「食で地域を盛り上げ隊」←



研究会が連日続く11月半ばの発表会開催であったため、残念ながら参加者は少なかったのですが、生活科や総合的な学習の時間の研究実践をしている学校は少ないこともあり、本校の取組や授業には、高知県教育委員会関係者も含めて、励ましや期待を込めたありがたい評価をいただきました。

- 学校が組織的に研究をつみあげている。子ども達が、テーマに沿って、あるいは教師の問いに対して意見（考え）をつなげている場面が目についた。学習課題に主体的に関わっていかうとする姿が育っている。
- 児童への投げかけ（働きかけ）方、意見の引き出し方・広め方、支援の仕方、思考ツールなど…参考になりました。教師が自分の足で素材を探すということも、改めて「なるほど」と思いました。
- 5年生の先生も子ども達も学習活動をととても楽しんでいる様子を見ていると、今までの活動の充実ぶりがうかがえます。オーディエンスの他の学級の子ども達もしっかりとメモをとりながら判定し、5年団全員の授業づくりにとても感心しました。うちの学校もいきいきと活動する(できる)総合に向けて頑張ります!

また、講演では、東京都の小学校で全国から注目される生活科・総合的な学習の実践を創造した富井正嗣先生（前東京都新宿区立大久保小学校校長）から、本校の授業や取組のよさや課題にもふれていただきながら、生活科や総合的な学習が**地域で生きる子ども達、これからの日本を創る子ども達の“生きる力”**を育てるためにいかに意義ある学習となるのか、興味深く先見性に満ちた話がありました。

来る2月26日（日）、今年度最後の参観日は、本校として初めて、生活科と総合的な学習の時間を全学年・全学級で授業公開する予定です。子ども主体のみんな学び合う学習、一年間の子ども達の学びと育ちの成果を、ぜひご参観ください。



調べ学習も大切!



図書館の環境整備には
力を入れています!
今、電子化作業中です。

